



# 海と空 第13号

## 創立五周年を迎えて

施設責任者 岡崎富男

### — Contents —

- あいさつ ..... 1  
施設責任者 岡崎富男  
保護者会会長 山岡康彰
- ときわ呉5年間のあゆみ ..... 2・3
- あいさつ ..... 4  
施設長 三宅 進  
総務部長 片山仁壽
- 開設当初からの職員のこと ..... 5
- 行事 NEWS I  
卒園式・入学式 ..... 6
- 活動 NEWS I・II  
カーブ観戦・施設内活動 ..... 7
- 5周年記念講演会の内容 ..... 8
- 新入職員の紹介 ..... 8

本年二月で「ときわ呉」は五周年を迎える事が出来、先般クレイトン・ベイ・ホテルにて記念式典・記念講演会・パーティが行われました。小村呉市長をはじめ二三名の来賓の方々をお迎えし、保護者会からは山岡会長をはじめ三〇名の方にご出席頂き、その中には五組のご夫妻が居られました。また、社会福祉法人広島県リハビリテーション協会から河内理事長をはじめ理事・評議員など七名が出席を賜わり、職員は勤務の都合などで二七名が出席しました。記念式典は肅々と執り行われ、引き続き社会福祉法人旭川荘理事長の末光先生に「重症心身障害児・者の現状と未来」と題し、明解で、我々の今後の施設運営に大いに役に立つお話をさせて頂きました。

その後、会場を移してパーティが開かれ、詩舞あり、DVD上映やオカリナ・キーボード演奏あり、



末光先生と岡崎施設責任者

奏に歌もあり、和気あいあいの中、盛大に行うことが出来ました。ご出席の皆さま有難うございました。

思い起こせば、呉市に重症心身障害児施設を建てたいと思いはじめたのは十数年前の事です。計画が具体化し始めたのはそれから数年経ってからでした。

小村呉市長のお世話で、建設場所や運営主体が決定し、やっと設計図の作成に取り掛かりました。しかし、その後も人集めは暗中模索で、以前より声かけをしていた方々を核に、次第に拡大して行きました。

やっと施設の建物が姿を見せ始めた頃、私は難病に倒れてしまい長期入院を余儀なくされ、病床からメールで指示を送らなければならぬ羽目になり、しかも生命の保証も出来ないという状態になってしまいました。しかし三宅施設長、為國副施設長や片山総務部長を中心に施設を立ち上げ、運営も軌道に乗せて下さいました。

現在は健康も回復し、施設の更なる発展に寄与出来る様、残りの人生を送りたいと思っていますので、何卒宜しくお願い致します。

## 創立五周年

保護者会会長 山岡康彰

「ときわ呉」創立五周年おめでとうございます。 「ときわ呉」開設実現に力を注がれた岡崎先生や保護者の皆さんそして受け入れ皿となつて頂いた「社会福祉法人広島県リハビリテーション協会」に改めて、感謝申し上げます。

新しい施設で、関わったことのない重症児者へ支援体制を整え、軌道に乗せる事は様々な困難を伴い、大変であったと推察いたします。しかし、三宅先生や為國副施設長をはじめ「ときわ呉」のスタッフの皆さんの献身的な医療・看護・療育のおかげで子供たちはみんな一日一日を懸命に、大切に生き抜き、生きている喜び、生きている楽しみを味わい、かみしめてきたように思います。改めて、関係皆様にお礼申し上げます。

重症児者の自立とは「生きて笑顔をみせること」と言われます。

いつまでもその笑顔が見られますように、今後ともご支援宜しくお願いします。

保護者会は、子供たちのためならいかなる協力も惜しみません。

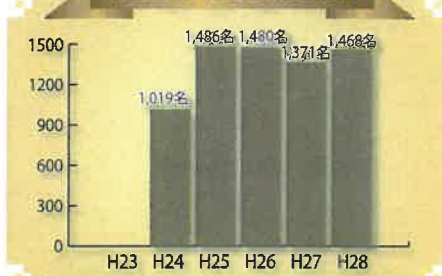
最後になりますが、「ときわ呉」ならびに「社会福祉法人広島県リハビリテーション協会」の今後ますますの発展と関係皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしましてお祝いの言葉をいたします。

平成25年度	平成24年度	平成23年度	
49名	37名	15名	入所者数 (各3月31日現在)
1,472名	1,184名		短期入所 年間利用者数
1,486名	1,019名		通園 年間利用者数
89名	80名	57名	職員数 (各3月31日現在)

## 出来事

- ・1月1日新規職員採用  
(1か月間の教育プログラム実施)
- ・1月17日開所式
- ・2月1日重症心身障害児(者)施設としてスタート
- ・3月1日A型通園としてスタート
- ・4月1日療養介護・医療型障害児入所事業と変更
- ・4月1日生活介護・児童発達支援・放課後等デイサービス等事業内容の変更/短期入所事業のスタート
- ・呉市主催高校生福祉体験受け入れ(以後毎年不定期に2~3名の受け入れ)
- ・ときわ呉夏祭り開催(以後毎年8月第一日曜日)
- ・給食業務を「ナリコマエンタープライズ」に委託変更
- ・呉市と防災協定締結(福祉避難所)
- ・広島文化学園大学看護実習受け入れ(年間を通し約45名を以後毎年受け入れ)
- ・電子カルテ導入

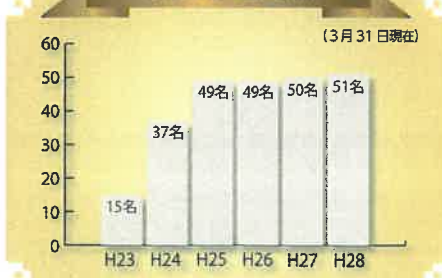
通園年間利用者数



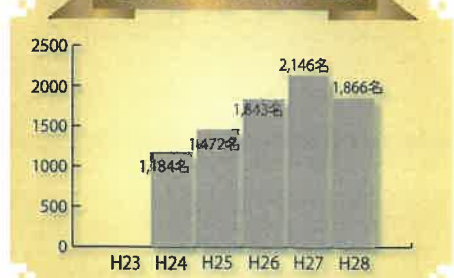
職員数



入所者数



短期入所年間利用者数



平成25年度ときわ呉夏祭り

# ときわ呉5年間のあゆみ

平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
	51名	50名	49名
	1,866名	2,146名	1,843名
	1,468名	1,371名	1,480名
	98名	87名	85名

- ・保護者会発足(初代会長:砂古美智子様)
- ・呉南特支知的障害部門開校
- ・天井走行リフト取付5年計画スタート
- ・介護職員初任者研修(職員を講師として派遣)以後毎年2回)
- ・広島国際大学早期体験学習受け入れ(医療栄養学部)以後毎年受け入れ)
- ・広島都市学園大学看護見学実習受け入れ(平成28年度まで)
- ・第一回成人を祝う会
- ・有期有目的入所事業開始
- ・遠隔画像診断サービス利用開始
- ・中国四国地区民営重症心身障害児施設事務担当者・給食担当者会議開催
- ・八咫烏神社秋の例大祭参加(地域行事ヤブー以後毎年参加)
- ・第二回成人を祝う会
- ・第二代保護者会会長(織田奈々江様)
- ・施設安全強化対策の増強
- ・保育遠足実施(広島空港見学)
- ・成人の行事として宮島遠足
- ・送迎車両の充実
- ・第三代保護者会会長(山岡康彰様)
- ・6月4日五周年記念講演会開催
- ・広島文教女子大学保育実習受け入れ



宮島遠足



中四国地区民営重心施設担当者会議



平成27年度ときわ呉夏祭り



平成26年度ときわ呉夏祭り



宮島遠足



八咫烏神社  
秋季例大祭



第2回成人を祝う会



第1回成人を祝う会

## ときわ呉開設五周年を迎えて

施設長 三宅 進

多くの関係者の努力により、難産の末ときわ呉が誕生したのは五年前のことでした。この施設をなんとか育てなければと、職員一同頑張ってきた五年間の軌跡をお話します。

平成二十四年二月一日、職員五十八名・入所者三名で始まり、六月には入所者二十五名と増え活況を呈して参りました。この頃は、現在の職員駐車場は駐車場として使用することが認められておらず、職員は、呉市から賃借した、アレイからすこじまにある駐車場から歩いて施設に通いました。雨の日も、凍える日も長い坂道を何度か歩いたものです。

平成二十五年四月には、当初から給食を担当していたランチセンターが撤退という事態に陥りましたが、法人本部や事務方の努力で、ナリコマエンタープライズに委託が決まりホッと胸を撫で下ろしたのを覚えております。

同じ頃、整形外科の長岡先生や薬剤師も職員に加わり、医療体制が整ってきました。また、粘り強い交渉によって駐車場として認められていなかった施設横の広場も、駐車場として利用可能になりました。

しかし、この年の夏には開設時からお世話になった平木先生・高田先生が退職され、十一月には開設の中心人物であった片山義弘前法人会長が亡くなりました。福祉の道

を歩んでこられた義弘先生の最後の仕事がときわ呉を立ち上げることだったという話を聞いたとき大変感動し、頑張らなければならぬと決意を新たにいたしました。

平成二十五年十二月一日より、これも難産の末、管理工学研究所の電子カルテを導入し、翌二十六年二月には杉田先生が新たに仲間に加わりました。これにより、医療体制が元の常勤医三名体制となりました。感染症の専門家である杉田先生には、毎年流行するインフルエンザや夏かせの対応に手腕を振るってもらっています。

平成二十七年になると、開設以来、徐々に利用が広がっていた短期入所（ショートステイ）の在り方が問題となりましたが、利用者や家族に寄り添えるよう取り組みを続けています。

また、平成二十八年五月からは光畑先生の泌尿器外来が始まり、医療体制のレバートリーが一段と広がりました。

要望を全て叶えることは難しいことですが、少しずつでも見直しを進めながら、利用者のニーズに応えようとしていった五年間で、今後、さらに周辺の医療機関や学校との連携を深め、利用者には喜ばれる施設にしていきたいと思っております。どうぞ長い目で施設の発展を応援していただきたく思います。

## 「神の与えたまえしもの」

総務部長 片山仁壽

ある日、雑草の生い茂る施設の庭園で呉南特別支援学校の先生と利用者の散歩場面に遭遇した。そこで耳に入ったのが「綺麗な花が咲いているね。ホラホラ・・・。」という会話だった。ドレドレ、そっと覗いてみるとそこには黄色の小さな花がいくつかが咲いていた。今まで「よく生い茂る草だ！」と何度かひき抜いた記憶が蘇る。こんなにもカレンな花をつけるのは・・・。皆同じ生態系を持つ植物なのだ。ただ、それだけなのに、勝手に区別していただけたのだ。

有機農法という食物の栽培方法がある。そこには、何でも芽を出す。限られた土壌にある栄養分を芽吹いたすべてが分かち合って生きていく。自分の実だけを大きくしようとする邪な思いはそこにはない。ただ必死に生き延びている。きつと、どう生き抜くかが問題であり、あれが足りない、これがない、との愚痴はそこにはない。そんなことはそれこそ何の役にもたないからだ。

ときわ呉が生まれて五年、神はこの世に必要なものが故に作り賜われたのだろう。唯一無二の存在としてときわ呉を作り賜われたのだろう。

幸いにも今や百名を超える集団へと成長した。かけがえのない使命を持つ組織として、これからのかにあるべきか、どうしていくべきか。心静かに耳を澄ましてみましょう。どこかで希望の足音が聞こえる。「ときわ呉は、ときわ呉として次なる一歩を踏み出そう！」

もう五年、また五年・・・  
「鳥合の衆」が少しずつ落ち着き始めています。保育や療育内容に深みが出てきました。利用者様に合った内容の活動に、利用者様の表情も豊かに、そして笑顔が増えたと感じています。

○副施設長 馬国志保子

常に何かに追いかけていられる。そんな五年間でした。病院として福祉施設として、そしてまた法人の一施設として。制度は目まぐるしく変化し、こんな日々から解放されるのはいつになるやら。

○総務課長 新庄 健

あつとつ間の五年間でした。皆様の温かい言葉に支えられ今日までやってこれてきました。これからもう上心を持って取り組んでいきたいと思っております。

○管理栄養士 寄田多恵子

毎日が発見です。毎日、一生懸命その命を歩み育んでいる様子を身近でみせてもらっています。驚きや喜びを与えていただき、日頃我々がいかに奢り、高慢であるかを思い知らされます。これからもよろしくお願いたします。

○診療検査部 臨床検査技師 丸川 健一

ときわ呉に勤めて五年が過ぎました。時には辛い経験をすることもありましたが、その度利用者様や仲間を救いました。自分も誰かの力になれているだろうか、日々がおもいやりな修行です。これからも「怒の心」を育てていきたいです。

○診療検査部 理学療法士 高須賢文吾

利用者ご家族の方々や、スタッフの役に立てるよう日々心がけております。皆様のお力添えをいただきながら多くを学び、今後益々ときわ呉が素晴らしい「場」となるよう努めて参ります。

○総務部主事 木吉 陽子

障がい者の皆様との出会いがあり、私たちの声や匂い、温もりは届いています。生活を楽にしています。ご家族のご支援協力で五年が過ぎました。これからもよろしくお願いたします。

○在宅サポートセンター 看護師 丸川 秀穂

開設五周年おめでとうございます。最初は何も分からないところから出発でした。今までも、これからも仲間と一緒に仲良く助け合いながら歩んでいきたいと思っております。ときわ呉が今後も発展していくことを心から願っています。

○療育部看護課 看護師 島田 頼子

開設してからあつとつ間の五年間でした。その間に色々な経験をし、吸収できた五年間でした。これからも利用者様が安楽に過ごせるようお手伝いさせていただきます。

○療育部看護課 看護師 前田 恵子

もう五年も経つのだな・・・と改めて感じました。振り返ると笑顔ひとつで勇気づけられることもありました。これからも、どんなに小さなことでも思いやりを持って行動していきたいと思っております。

○療育部看護課 看護師 野上 文字

祝 ときわ呉開設五周年。  
ときわ呉がこれからも、ますます皆様に愛されるようできる限り一杯頑張りますので、よろしくお願い申し上げます。

○療育部看護課 看護師 藤田 絵梨



ときわ呉開設五周年という大切な節目を迎えることができたことをうれしく思います。一から積み上げていくことの難しさを感じながら、今後未永く発展していくよう歴史を積み上げていきたいと思っております。

○療育部療育支援課 主任 世良真佐美

思い返せばあつとつ間の五年間でした。色々なことひとつひとつに迷って、止まって、戻って進んで、また戻って・・・を繰り返しながらもゆっくりと積み上げてきました。これからも一日一日を大切に積み上げていきたいと思っております。

○療育部療育支援課 主任 石田 優子

ときわ呉に勤め五年が経ち、期待と不安で長く感じた一日や短く感じた一日など、様々なことを改めて思い出しています。今後、初心を大切に、みんなの笑顔あふれるときわ呉にしていきたいと思っております。

○療育部療育支援課 主任 木元久美子

五周年おめでとうございます。振り返れば色々な出来事がありましたがあつとつ間の五年間でした。今後ともよろしくお願いたします。

○療育部療育支援課 介護福祉士 石川真佐子

入所者三名から始まったときわ呉でしたが、五年経った今では満床となり、毎日きやかな活気にあふれています。これからも活気あふれるときわ呉が続くよう努力していきたいと思っております。

○療育部療育支援課 介護福祉士 砂田保奈美

今年度四月に育児休業から復帰し三ヶ月が経ちました。休業中の成長に驚き、変わらぬ笑顔に安心しました。以前「子」を持つ利用者さんの見方も変わりました。一言われ、復帰を楽しみにしていました。今後、より広い視点で物事を見られるよう頑張ります。

○療育部療育支援課 介護福祉士 市川 聡子

この五年間で入所の方の人数も増えときわ呉の形が見えてきたように感じます。一人一人の毎日が、穏やかな笑顔のある毎日であり、嬉しく、これからも関わらせていただきたいと思います。

○療育部療育支援課 保育士 矢野 裕子

この五年間は長いようで短い五年間でした。何もないところから作り上げていくことがいかに難しいか、痛感した五年間でした。しかし、やりがいと達成感がありました。これからも利用者様のためによりよい施設にしていきたいと思っております。

○療育部療育支援課 保育士 廣兼明日香

開所した時私は就職して一年が経っていない状況でした。右も左も分からなかった私。その中で、たくさんの方々に指導・助言をいただきながら進んできた五年間でした。これからも様々なことを学び、吸収し、皆さまと楽しく過ごしていきたいと思っております。

○療育部療育支援課 保育士 児玉 優

五年前、利用者様も少なく小さく、ときわ呉を創ってきたように感じています。これからも日々新たな気持ちで利用者様と一緒にときわ呉を盛り上げていきたいと思っております。

○療育部療育支援課 保育士 原田 類

開所から五年が経ちました。これからも初心を忘れず、利用者様の生活に寄り添い、お手伝いさせていただければと思います。

○在宅サポートセンター 相談支援員 御畑 麻実

# 行事 NEWS I

## 通園 卒園式

平成29年3月28日



ときわ呉通園は、未就学児から成人までの方が利用しています。その中で、平成28年度は1名が卒園を迎えました。通園のみんな



からそれぞれ花束、在園児のみんなからペンダントを渡し、たくさんの方々に見守られ素敵な卒園式になりました。大切な節目を通園のみんなでお祝いし、すばらしい一日となりました。  
小学校でも楽しく過ごせると思いますね♪



## 入学式

平成29年4月7日

本年度ときわ呉からは三名が呉南特別支援学校の入学式に参加しました。今回の入学式が初めての外出となる利用者の方もいました。



天気はあいにくの雨でしたが御家族にも参加していただき、式の雰囲気にも緊張しつつも思い出の一日となりました。

普段の授業では手に絵の具を付けて描いたり、切り貼りをして作品を作成したりしています。スクリーングにも参加し、五月は運動会の練習を見学しました。

# 活動 NEWS 1

## グループ外出!

5月…大和ミュージアム  
6月…カーブ観戦



今年度から新たに担当支援員が主となり計画してお出掛けする「グループ外出」がスタートしました。五月に大和ミュージアム周辺、六月にはときわ呉では初めてとなるカーブ観戦に出掛けました。ここではカーブ観戦について紹介したいと思います。普段はテレビで観戦しているカーブを生で球場で観戦し、日頃実感出来ない経験をして貰おうと計画しました。初めてのマツダスタジアムへの外出ということもあり、職員もドキドキしながら六月四日を迎えました。

当日は快晴で、暑いかな?と心配していましたが、観戦した内野車椅子指定席は心地の良い風が吹き、涼しく感じました。試合開始前にショップでそれぞれユニフォームやグッズを購入し、Aさんは自らタオルやキーホルダーを笑顔で選んでいました。この日はチケット全席完売の超満員。とても賑やかで球場が真っ赤に染まっていました。観戦に行く前に「ホームランが見れたら良いねえ」と話していたのですが、なんと当日は三本も!! Bさんは手の上に挙げ、回しながら喜んでいました。そしてこの日のカーブは七対一で快勝!

ヘルメットの容器に入ったソフトクリームも堪能し、大満足でした。時間の関係で最後まで観戦することは出来ませんでした。球場の雰囲気、大歓声、選手たちの気迫あふれるプレイに触れ、職員、利用者共に良い経験になったのではないのでしょうか?

これからも毎月さまざまな場所へ出掛けて行きます。次回もお楽しみに!

# 活動 NEWS 2

## 友達に会いに行こうゲーム

あみだくじで、利用者の中から会いに行くお友達を決定し、お部屋に会いに行きました。普段あまり出会えない幼児さんたちに会い握手をして、お互い笑顔になっていました。



## 風車作り

グループ全員で風車を作り、外に出て風を感じて遊びました。

## お誕生日会



グループの中のお誕生日をお祝いしました。みんなでプリン・ア・ラ・モードを食べ、ニコニコ笑顔でした。

## カーネーション作り



母の日が近づき、グループ全員でお母さんに渡すカーネーションを手作りしました。上手に完成して得意顔に。



# ときわ呉 5周年記念講演会

平成29年6月4日(日)、ときわ呉5周年記念式典に合わせて、社会福祉法人旭川荘の末光茂理事長による、「重症心身障害児者の現状と未来」と題した講演会が開催されました。

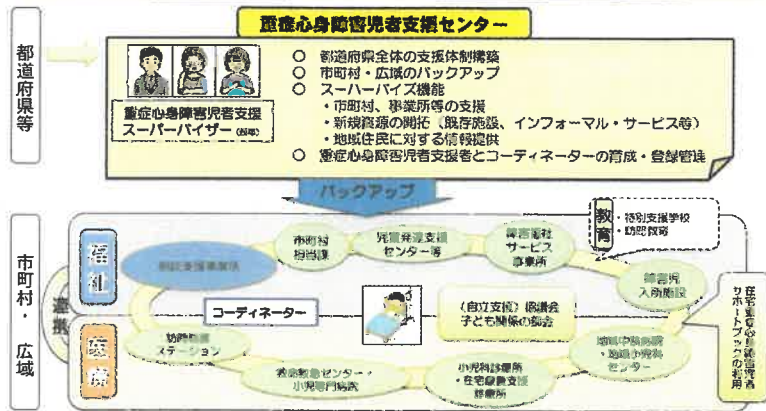
講演会では、まず、新たに重症心身障害児者施設を立ち上げることの困難さと、これを成し得た関係者の努力に敬意を表されると共に、保護者や職員に対して、施設があることによる安心感と、これを維持していくことの困難さを語られました。

そして、いわゆる障害者総合支援法等成立の過程で明確化された、施設解体・脱施設化の流れの中で、重症心身障害児(者)を守る会が、いかに苦心して児童と成人の一体運用を堅持したままで施設が継続できるよう活動してきたかを説明されたうえで、成人期にふさわしい日中活動、NICU等からの超・準超重症児の受入れ、医療的ケア児や医療的ケアの必要な強度行動障害児者への対応、周辺障害児者の医療的入院受入、グループホーム(地域生活)移行への条件整備、看取りの在り方、そして成年後見人の整備の必要性について、分かり易くお話をいただきました。

また、重症心身障害児者施設と保護者は「車の両輪」であり、どちらが先行して動いても良い結果は得られないこと、そして、重症心身障害児(者)を守る会が果たしてきた役割を理解し、これからは入所利用者と在宅重症心身障害児者の連携が必要不可欠で、施設として、地域生活のバックアップ機能の充実を求められることを強調され、講演を終えられました。

## 重症心身障害児者支援体制整備モデル事業 (平成27年度イメージ) 資料6

重症心身障害児者への支援の強化・充実を図るため、地域の中核となる重症心身障害児者支援センターを設置し、市町村・事業所等への支援、医療機関との連携等を行い、地域全体における重層的な支援体制の構築を図る取組みを進める都道府県・指定都市・児童相談所設置市に対して補助を実施する。  
※将来的には、全ての都道府県・指定都市・児童相談所設置市の設置を目指す



## 新入職員の紹介



今年度4月に入職した青尾です。職員の患者様に対する温かくきめ細やかな態度に心打たれています。岡崎先生、三宅先生をはじめとする諸先生方の厳しくも温かいご指導のもと、初心を忘れずスタッフとのコミュニケーションも大切に、患者様第一を目指し頑張りたいと思っています。

医師 青尾知佐子



今年度4月からときわ呉で働くことになりました中富です。3月に30年間在籍したJA 広島総合病院を定年退職し、ときわ呉では週に1回(火曜日)微力ながらお手伝いすることになりました。専門は小児科ですが、てんかん等を主に診ておりましたので、ときわ呉でもお役に立て

ば…と思っています。これからもよろしくお願

いいたします。

医師 中富千恵子



まだまだ分からないことが多く、苦戦することもあります。利用者様やご家族に寄り添った看護ができるように日々関わり勉強していこうと思います。よろしくお願

いいたします。

療育部看護課看護師 中田 明香



まだまだ分からないことばかりですが皆さんの声や笑顔に日々元気をもらっています。私自身も笑顔を忘れず、成長できるように頑張りたいと思います。

診療検査部理学療法士 隅田亜紗子



利用者様に寄り添ったりハピリができるよう、先輩や保護者の皆様の力を借りたり、勉強会に参加したりしながら、知識・技術ともに磨き、ときわ呉の一員として頑張りたいと思います。至らない点がたくさんあると思いますが、ご指導よろしくお願

いいたします。

診療検査部作業療法士 小早川千穂



学生生活から一変、仕事にも少し慣れてきました。利用者様がより楽しく施設での生活ができるよう、一生懸命サポートしていきたいと思っています。よろしくお願

いいたします。

療育部療育支援課保育士 宮上 文歌



楽しく仕事ができるよう、利用者様やご家族、スタッフとの関わりを大切にしていきたいです。

療育部看護課看護師 渡辺 由衣

## 編集後記

今年は梅雨に入った途端、空梅雨となり、ここ数年間は春と秋が短いなど、憂すべき日本の季節感がなくなりそうです。2年間休刊されていた機関紙をやっと発行することができました。新しく広報委員となり、気を引き締めて年3回の発行を滞りなく進めていこうと全員で誓い合ったところです。やっと軌道に乗りに出した『ときわ呉』の様子を皆さまに知っていただきたくて・・・ S.T

第13号 NO.013

平成29年8月1日

重症心身障害児者 医療福祉センター ときわ呉

〒737-0024 広島県呉市宮原十三丁目2-12

発行責任者 三宅 進

TEL: 0823-32-3777 FAX: 0823-32-3770

http://www.tokiwadaihome.or.jp/tokiwakure/

E-mail:tokiwakure@tokiwa-kure.jp

※掲載させていただいた写真は、利用者やご家族の承諾をいただいております。